

実施要領・仕様書 (番号)	質問内容及び 回答内容	
実施要領 3 参加資格	質問	複数社と共同での提案は可能でしょうか。共同提案可能な場合、役割分担表などの追加提出書類はございますでしょうか。
	回答	<p>グループでの提案を妨げません。</p> <p>なお、グループで提案をする場合は、以下の点にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表となる事業者（代表構成員）を定めてください。他の事業者は当該グループの構成員となります。 ・代表構成員は公募型プロポーザル実施要領中の参加資格全てを満たし、他の事業者は（2）～（6）の全てを満たしている必要があります。 ・提案書に、グループについて次の項目を明記してください。①構成員の所在地及び名称②グループ代表者の名称③構成員の業務負担割合、業務内容 ・提案書に、各構成員の担当項目、業務の責任所在を明記してください。 ・契約の前に、グループ協定書を構成員で締結したうえで、その写しをご提出いただけます。 ・グループの構成員の変更は認めません。ただし、市長が特に理由があると認める場合はこの限りではありません。 ・この業務において、単独で提案した事業者は、他のグループの構成員になることはできません。また、複数のグループにおいて同時に構成員となることはできません。 <p>また、共同事業体で提案する際の提出書類は以下のとおりです。</p> <p>①参加申込書【様式1】 ⇒ グループとして、グループ名で提出</p> <p>②会社概要書【様式2】 ⇒ すべての構成員分を提出</p> <p>③類似事業実績報告書【様式3】 ⇒ 代表構成員は必須、その他構成員は実績があれば提出</p> <p>④貸借対照表、損益計算書（直近1年分） ⇒ すべての構成員分を提出</p> <p>⑤履歴事項全部証明書（直近3か月以内のもの） ⇒ すべての構成員分を提出</p> <p>⑥納税証明書（直近3か月以内のもの） ⇒ すべての構成員分を提出</p> <p>⑦企画提案書 ⇒ グループとして提出</p> <p>⑧事業実施に係る経費の内訳がわかる書類 ⇒ グループとして提出</p> <p>※その他、必要に応じて追加資料の提出を求めることがあります。</p>
仕様書 3. 業務の概要 (2) セミナーの開催 3. 業務の概要 (3) 企業の募集・選定業務 3. 業務の概要 (3) 伴走型成長支援プログラム実施業務 3. 業務の概要 (4) 伴走支援企業への機器導入等支援業務 4. 業務の仕様 (1) 全体マネジメント業務	質問	過去に静岡市役所と商工会議所が連携してDXセミナーを実施した実績がございますか。
	回答	実績はありません。
	質問	セミナーは10社以上に参加頂いたとして、大半の企業様に断られるなどして伴走支援実施企業が10社に満たなかった場合は、どのような扱いになりますでしょうか。セミナーを複数回開催して募集を続けることは可能でしょうか。
	回答	<p>募集・選定期間は令和6年8月末までとしているため、その期間において適宜セミナーを開催し、募集を続けることは可能です。</p> <p>募集・選定期間を超えても10社に満たない場合は、市と協議のうえ、その後の対応について決定することとします（変更契約の可能性有り）。</p>
	質問	完了基準ですが、伴走支援が未了でも報告会を実施して状況報告できれば問題ないでしょうか（終わらせる努力はします）。
	回答	伴走支援が未了の場合は、目標に対する現在の状況と、今後の取り組み内容や完了時期等について報告会で発表してください。
質問	伴走支援企業への機器導入等支援業務の完了基準と期限はございますか（例：「2025/3/21までに伴走支援企業から弊社への支払いが完了」など）。	
回答	<p>本業務における受託者の役割は、参加企業への導入機器等の提案など申請に係る支援であり、補助金の交付決定前までの支援を想定しています。（補助金はそれぞれの事業者に交付します）</p> <p>特段完了基準はございませんが、申請支援は伴走支援期間中（令和7年2月末まで）に行ってください。</p>	
質問	「専ら当該業務に関わるスタッフを配置する」について、当該スタッフは他業務を行えないのでしょうか。それとも複数名体制で、平日9-17時で問い合わせに対応できる体制を構築すれば支障ないでしょうか。もし完全な専任が条件である場合、派遣社員を専任スタッフとすることは可能でしょうか。	
回答	<p>専ら当該業務に関わるスタッフが他業務を行うことについては制限はありません。</p> <p>スタッフ数について特段決めておりませんが、業務が円滑に遂行できるだけの人員を配置してください。</p>	
その他 業務全般	質問	昨年度同様の事業をされているかと思いますが、成果と課題を教えてください。
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度事業につきましては、HPにおいてモデル事例集を公開しておりますので、ご確認ください。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2746/s013073.html ・伴走支援企業が事業終了後も自走できる体制構築、モデル事例の創出による地域企業への横展開を課題と考えております。